

## 第18回中小商工業全国交流・研究集会

### 憲法を生かし、中小商工業の力で循環型経済・社会を

HP・メールニュース〈No.2〉

2013年7月17日

18回研究集会の開催地・岡山県は「晴れの国」と言われるように、緑豊かな中国山地と温暖な瀬戸内の気候に恵まれ、豊かな自然にあふれ、また歴史と伝統を有する貴重な産業資源も有しています。現地実行委員会では、そのうちの幾つかを移動分科会で直接、見てもらおうと準備中です。

プランが固まりましたらお知らせしますので、ご期待ください。

各分科会への持ち込みレポート・報告もどしどし提出してください。提出されたレポートは分科会運営の座長と相談上、予稿集に掲載していきます。

☆よろしくお願ひします。

#### ☆コンテンツ☆

- ・パネルB 高知・梶原町
- ・移動分科会はどこへ行くの？

#### ◇パネルB エネルギー100%自給をめざす高知・梶原町の取り組み



梶原町（高知県）は2009年1月22日に政府より環境モデル都市に選定された人口約4600人、総面積237k㎡の小規模市町村です。温室効果ガス排出量を2030年に50%、2050年に70%削減、吸収量を2030年に3.5倍、2050年に4.3倍（1990年比）にすることを目標に掲げ、山村型低炭素社会の実現と地域資源利用による電力自給率100%超を目指した取り組みで全国的に知られています。

パネルBでは、梶原町環境整備課の那須主査が「木質バイオマス地域循環モデル事業」はじめとする同町がすすめるプロジェクトを報告します。

梶原町では豊富な森林資源を活かし、間伐材や端材などから木質ペレットを生産、ペレットストーブ等の燃料に活用するとともに、ペレットの生産、利用による事業収入や企業との協働により森林づくりに取り組む循環モデル事業を展開するとともに、四国カルストに設置した現状2基の風力発電施設を2050年までに40基に増設、小水力発電、太陽光発電なども積極的に整備し、産業、業務、家庭部門における電力の自給率100%を目指しています。（上、写真は地元木材を使った梶原町役場）

◇移動分科会では…

・炎のまち備前へ 日本の六古窯のなかでももっとも長い歴史を持つのが備前焼きです。古墳時代より須恵器の生産を営んでいた陶工たちが、平安から鎌倉初期にかけて、実用的で耐久性をもつ日用雑器の生産を始めたのが始まりと言われます。釉薬を用いない渋い焼き上がりと素朴な味わいが魅力です。今でも備前には登り窯が集積し多くの作家が活躍して



います（右写真）。町を散策しながら窯や作品、伊部美術館など見学します。また、伝統を守りつつ現代が求める新たな作品づくりに挑戦する作家のみなさんとの交流もはかかります。

・国産ジーンズ産地へ 備前とともに岡山の観光資源にもなっているのが、倉敷市児島地区です。児島は、1965年に初めての国産ジーンズが発売された日本ジーンズ発祥の地であり、ジーンズ関連企業が集まっています（左写真）



。素材から染め、織り、縫製、洗い、仕上げ加工まで、全ての技術が集積している児島で製造されたジーンズは、日本はもちろん世界的にも高い評価を受けています。グローバル化のなかで生き残る道を探る産地のさまざまな模索と挑戦を、磯部作・日本福祉大学教授の案内で学びます。

\*\*\*\*\* 《参加申し込みについて》

\*\*\*\*\*

1、日時・開催場所

第1日：9月7日（土）12：00～〔会場：岡山市民会館・大ホール〕

【全体会】基調報告／講演・三井逸友・嘉悦大学教授／特別報告

【パネルディスカッション】【憲法講座】15：00～18：00

A：新しい地域創造への挑戦—憲章・地域振興条例を力に—

B：実践・再生可能エネルギーによる循環型地域づくり

C：いま、輝く地域密着の家族経営

講座「憲法を考える」

参加者交流会（サン・ピーチOKAYAMA）18：30～参加費：5000円

第2日：9月8日（日）

9：00～15：00【分科会】14分科会〔岡山大学津島北キャンパス・文法経済学部棟〕

2、参加費 2日間：10,000円、学生・院生3,000円

問合せ・参加申込は民商・全商連まで

---

参加申込用紙・リーフレットをお送りします。参加費を添えて8月25日（木）までに実行委員会に申し込んでください。

全商連 ☎03-3987-4391／宿泊希望は、シモデンツーリスト ☎086-224-8811

第18回中小商工業全国交流・研究集会